令和４年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

保健体育

注意　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。
※本問題では、以下のようにする。
・中学校学習指導要領（平成29年３月文部科学省告示）第２章 第７節 保健体育を「中学校学習指導要領」、中学校学習指導要領解説保健体育編（平成29年７月文部科学省）を「中学校解説」とする。
・高等学校学習指導要領（平成30年３月文部科学省告示）第２章 第６節 保健体育を「高等学校学習指導要領」、高等学校学習指導要領解説保健体育編・体育編（平成30年７月文部科学省）を「高等学校解説」とする。

第１問題　次の文章は、中学校解説又は高等学校解説における各段階で示した「学びに向かう力、人間性等」の主な表記である。［ア］～［コ］にあてはまる語句を答えよ。

各段階で示した「学びに向かう力、人間性等」の主な表記

<table>
<tr><th>指導事項</th><th>中学校１年・２年</th><th>中学校３年・高校入学年次</th><th>高校その次の年次以降</th></tr>
<tr><td>ア　共通事項</td><td>［ア］に取り組もうとする</td><td>［イ］に取り組もうとする</td><td>［ウ］に取り組もうとする</td></tr>
<tr><td rowspan="3">イ　公正</td><td>勝敗などを認め、ルールや［エ］を守ろうとする</td><td colspan="2">勝敗などを冷静に受け止め、ルールや［エ］を大切にしようとする</td></tr>
<tr><td>フェアなプレイを守ろうとする</td><td colspan="2">フェアなプレイを大切にしようとする</td></tr>
<tr><td>相手を尊重し、［オ］な行動の仕方を守ろうとする</td><td colspan="2">相手を尊重し、［オ］な行動の仕方を大切にしようとする</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ウ　協力・責任</td><td>よい演技を認めようとする</td><td colspan="2">よい演技を［カ］ようとする</td></tr>
<tr><td>仲間の学習を［キ］しようとする</td><td>互いに助け合い教え合おうとする</td><td>互いに助け合い高め合おうとする</td></tr>
<tr><td>分担した役割を果たそうとする</td><td>自己の［ク］を果たそうとする</td><td>役割を［ア］に引き受け自己の［ク］を果たそうとする</td></tr>
<tr><td rowspan="2">エ　参画・共生</td><td>話合いに参加しようとする</td><td>話合いに［ケ］しようとする</td><td>合意形成に［ケ］しようとする</td></tr>
<tr><td>一人一人の違いを認めようとする</td><td colspan="2">一人一人の違いを大切にしようとする</td></tr>
<tr><td>オ　健康・安全</td><td>健康・安全に気を配る</td><td colspan="2">健康・安全を［コ］する</td></tr>
</table>

2025 kyosai-guild.jp

第2問題　体つくり運動について、次の問に答えよ。

問1　「体ほぐしの運動」において、運動の技能についての学習評価を設定しない理由を記せ。

問2　中学校解説「第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2内容 A体つくり運動［第3学年］(1)知識及び技能 ○運動 イ実生活に生かす運動の計画」及び高等学校解説「第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各科目の目標及び内容「体育」3内容 A体つくり運動［入学年次］(1)知識及び運動 ○運動 イ実生活に生かす運動の計画」に取り組む上で、指導に際して大切なポイントを一つ記せ。

第3問題　中学校解説「第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2内容 C陸上競技［第3学年］(1) 知識及び技能 ○知識」及び高等学校解説「第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各科目の目標及び内容「体育」3内容 C陸上競技［入学年次］(1)知識及び技能 ○知識」には、運動観察の方法について二つ示されている。その二つの方法を具体的に記せ。

第4問題　水泳の指導について、次の問に答えよ。

問1　水泳の指導について、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）クロールのプルの動きを獲得する段階の練習方法を一つ例示せよ。

（2）平泳ぎのキックの練習について、主に動きを獲得する段階の練習方法を一つ例示せよ。

問2　次の文章は、着衣したままでの水泳の指導における指導上の留意点について述べたものである。［ア］～［キ］にあてはまる語を答えよ。

① 服装は多様な事故を想定して各種の服装が望ましいが、学校での指導では［ア］や運動靴などで行うことが考えられる。

② プール水を汚さないため、着衣等は十分に洗濯したものや［イ］なものを各自に用意させる。なお、プール使用の最終日や水の入れ替え直前などに着衣での水泳指導を実施するのも一つの方法である。

③ はじめは、泳法などは［ウ］とし、どのように浮いたり泳いだりするのが合理的であるかを身をもって体験させる。次に、［エ］、横泳ぎ、エレメンタリーバックストロークなどを用いてできるだけ浮力を利用してゆっくりと泳がせる。［オ］や背泳ぎはふさわしくない。

④ 距離、［カ］ともできるだけ長く浮遊し続けられることが望まれる。

⑤ 水泳の［キ］が十分に身に付いている生徒を対象として行うと効果的である。また、水泳の［キ］が十分に身に付いていない生徒を対象とする時は、浮力体の補助具を使用して行うと効果的である。

2025 kyosai-guild.jp

第5問題　跳び箱運動について、次の問に答えよ。

問1　跳び箱運動の技の運動経過を、「助走から踏み切り→第1空中局面→着手→第2空中局面→着地」と捉えた場合に、次の（1）～（3）に答えよ。

（1）「助走から踏み切り」について、基本となる動きとして、最初の段階の指導において考えられる手立てを記せ。

（2）切り返し系の技の「着手」については、手で突き放すような動き方のベースとなる能力が大切である。そのための基本となる動きとして、考えられる手立てを記せ。

（3）「着地」を怖がる生徒に対して、考えられる手立てを記せ。

問2　跳び箱運動の回転系の技の指導について、次の（1）、（2）に答えよ。

（1）台上前転の動き方のポイントを記せ。

（2）台上前転でのつまずきへの対応や安全確保の方法を記せ。

第6問題　中学校解説「第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2内容 E球技[第3学年]」及び高等学校解説「第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各科目の目標及び内容「体育」3内容 E球技[入学年次]」について、次の問に答えよ。

問1　次の（1）～（7）は、球技における「技能」のうち、何について述べたものか、最も適切な語句をA～Jから選び、記号で答えよ。

（1）ゴール型：守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること。

（2）ゴール型：パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。

（3）ネット型：ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。

（4）ネット型：ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること。

（5）ベースボール型：ねらった方向にボールを打ち返すこと。

（6）ベースボール型：スピードを落とさずに円を描くように塁間を走ること。

（7）ベースボール型：味方からの送球を受けるために、走者の進む先の塁に動くこと。

A　安定したバット操作　　B　空間を作りだすなどの動き　　C　基本的なバット操作
D　連携した動き　　E　定位置での守備　　F　空いた場所をめぐる攻防
G　空間に走り込むなどの動き　　H　安定したボール操作　　I　走塁
J　連携した守備

問2　次の文章は、「(2) 思考力、判断力、表現力等」の一部である。［ア］～［ウ］にあてはまる語句を答えよ。

中学校解説

指導に際しては、第3学年においては、［ア］をもとに、よりよい［イ］を比較したり、活動を振り返ったりするなどによって、学習成果を分析する活動の［ウ］を工夫することが大切である。

高等学校解説

指導に際しては、入学年次においては、［ア］をもとに、よりよい［イ］を比較したり、活動を振り返ったりするなどによって、学習成果を分析する活動の［ウ］を工夫することが大切である。

2025 kyosai-guild.jp

第7問題　剣道の指導について、次の問に答えよ。

問1　「新しい学習指導要領に基づく剣道指導に向けて（学校体育実技指導資料第1集「剣道指導の手引」参考資料）」（平成22年3月文部科学省）に示されている、学習指導との関連を考慮した剣道固有の特性を二つ記せ。

問2　次の（1）～（5）が解説している剣道の競技用語を答えよ。

（1）前後に速く速く移動する場合の足さばきで、遠い間合から間をつめ打突するときや打ち返しを受けるときなどに用いる。平常の歩行のように、右足、左足を交互に動かして進んだり、退いたりする動作のこと。

（2）相手との攻め合いや打ち合いによる攻防の流れから、互いに身体が接近した「最も近い間合」であり、鍔と鍔とが競り合った緊迫した状態のこと。

（3）相手の面打ちに対して、素早く左足から身体をさばき、退きながら竹刀を振りかぶり、相手に空を打たせて、隙が生じたところをすかさず面を打つこと。

（4）練習や試合での一足一刀の間合で、最もよく使われる剣道の基本的な足さばきで、前進、後退、左右、斜めへ素早く移動する場合に用いる動作のこと。

（5）打突に伴う余勢をかりて、自分の身体を相手の身体にぶつけて相手の気勢や体勢を崩し、攻撃の機会を作る動作のこと。

第8問題　中学校解説「第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2内容 Gダンス[第3学年](1) 知識及び技能 ○技能」及び高等学校解説「第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各科目の目標及び内容「体育」3内容 Gダンス[入学年次](1) 知識及び技能 ○技能」について、次の問に答えよ。

問1　創作ダンスにおける「個や群での動き」にはどのような動きがあるか、二つ記せ。

問2　次の（1）～（4）は、「日本の民謡」の〈曲目と動きの例示〉として示されている文章である。［ア］～［エ］に入る踊りの名称を答えよ。

（1）［ア］などの小道具を操作する踊りでは、手に持つ鳴子のリズムに合わせて、沈み込んだり跳びはねたりする躍動的な動きで踊ること。

（2）［イ］などの労働の作業動作に由来をもつ踊りでは、種まきや稲刈りなどの手振りの動きを強調して踊ること。

（3）［ウ］などの作業動作に由来をもつ踊りでは、踊り手がコマになったり手拭いでコマを回したりする動作を強調して踊ること。

（4）［エ］などの力強い踊りでは、腰を低くして踊ること。

第9問題　中学校解説及び高等学校解説における「体育理論」について、次の問に答えよ。

問1　中学校解説「第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕2内容 H体育理論[第3学年]○文化としてのスポーツの意義 ア知識 (ウ)人々を結びつけるスポーツの文化的な働き」に示されている内容を記せ。

問2　高等学校解説「第1部 保健体育編 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各科目の目標及び内容「体育」3内容 H体育理論 3豊かなスポーツライフの設計の仕方 ア知識 (イ)ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方」において、生涯にわたってスポーツを多様に継続するために大切であるとされていることを一つ記せ。

2025 kyosai-guild.jp

第10問題　保健について、次の問に答えよ。

問1　次の文章は、中学校学習指導要領「第２章 第７節 保健体育 第２ 各学年の目標及び内容〔保健分野〕１目標」の一部である。［ア］～［オ］にあてはまる語句を答えよ。

（1）［ア］における健康・安全について理解するとともに、基本的な［イ］を身に付けるようにする。
（2）健康についての［ウ］を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、［エ］を養う。
（3）生涯を通じて心身の健康の［オ］を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

問2　「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 【中学校　保健体育】」（国立教育政策研究所　令和３年　７版発行）では、中学校保健体育の保健分野の授業において、「思考・判断・表現」の評価の留意点として、授業において生徒一人一人を多面的に捉え妥当な評価を行うために、「観察やワークシート、生徒との対話など、多様な評価方法を工夫する必要がある」と述べられている。これに基づいた生徒の学習評価を進める上での留意点を二つ記せ。

2025 kyosai-guild.jp

第11問題　次の文章は、文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～（2021. 4. 28 Ver. 6）※2021. 5. 28 一部修正 第3章 具体的な活動場面ごとの感染症予防対策について 1．各教科等について」の一部である。［ア］～［ク］にあてはまる語句を答えよ。

各教科における「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」として、以下のような活動が挙げられます（「★」はこの中でも特にリスクの高いもの）。

（略）

・体育、保健体育における「児童生徒が［ア］する運動」（★）や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」（★）

【レベル３地域】

上記の活動は、「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い」ことから、行わないようにします。

緊急事態宣言の対象区域に属する地域における体育の授業内容については、［イ］で行う活動は避け、なるべく個人で行う活動とし、特定の少人数（２～３人程度）での活動（球技におけるパスやシュートなど）を実施する際は十分な距離を空けて行ってください。

また、緊急事態宣言の対象区域に属する地域でも、運動時は、身体へのリスクを考慮して［ウ］の着用は必要ありませんが、授業の前後における着替えや移動の際や、授業中、教師による指導内容の説明やグループでの話し合いの場面、用具の準備や後片付けの時など、児童生徒が運動を行っていない際は、可能な限り［ウ］を着用してください。また、［エ］が激しくならない軽度な運動の際は、［ウ］を着用することが考えられます。

【レベル２地域】

上記の活動は、可能な限り感染症対策を行った上で、リスクの低い活動から徐々に実施することを検討します。すなわち、これらの活動における、児童生徒の「接触」「［ア］」「近距離での活動」「向かい合っての［オ］」について、可能なものは避け、一定の距離を保ち、同じ方向を向くようにし、また［カ］や時間を絞るなどして実施します。この場合にも、（★）を付した活動については特にリスクが高いことから、実施について慎重に検討します。

その際には、以下の点にも留意します。

・できるだけ個人の教材教具を使用し、児童生徒同士の貸し借りはしないこと。

・器具や用具を共用で使用する場合は、使用前後の［キ］を行わせること。

（略）

・体育の授業は、当面の間、地域の感染状況にもよるが、可能な限り屋外で実施すること。ただし気温が高い日などは、［ク］に注意すること。体育館など、屋内で実施する必要がある場合は、特に［エ］が激しくなるような運動は避けること。

（略）

【レベル１地域】

上記の「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」については、換気、身体的距離の確保や手洗いなどの感染症対策を行った上で実施することを検討します。その際には、レベル２地域における留意事項も、可能な範囲で参照します。

2025 kyosai-guild.jp

令和４年度　解答例

保健体育

第１問題

ア	積極的（１点）	イ	自主的（１点）	ウ	主体的（１点）
エ	マナー（１点）	オ	伝統的（１点）	カ	讃え（１点）
キ	援助（１点）	ク	責任（１点）	ケ	貢献（１点）
コ	確保（１点）				

第２問題

問１	「体ほぐしの運動」は、技能の習得・向上を直接ねらうものではないため。（３点）
問２	①ねらいは何か、②いつ、どこで運動するのか、③どのような運動を選ぶのか、④どの程度の運動強度、時間、回数で行うかなどに着目して運動を組み合わせ、計画を立てて取り組めるようにすること。（３点）

第３問題

二人組などでお互いの動きを観察する他者観察（３点）
ICT を活用して自己のフォームを観察する自己観察（運動をした後に自分の動きを振り返って動いた感じを感じ取る自己観察）（３点）

第４問題

問１	（１）	陸上、あるいは腰ぐらいの水の中で、立った状態で、前かがみになり、左右の手を入れ替えるタイミングに注意してストロークの動きを行う。慣れてきたら、水の中の場合は呼吸動作も入れる。（３点）				
	（２）	陸上の床に腰を下ろしてキックを行い、足首の返しを自分の目で確認して行う。（３点）				
問２	ア	トレーニングウェア（１点）	イ	清潔（１点）	ウ	自由（１点）
	エ	平泳ぎ（１点）	オ	クロール（１点）	カ	時間（１点）
	キ	技能（１点）				

2025 kyosai-guild.jp

令和４年度　解答例

保健体育

第５問題

問１	（１）	助走距離を長くしないで、２～３歩踏み出して、踏切板を両足で踏み切り、踏切板の前に置いたマットに着地する。（１点）
	（２）	腕立て伏臥姿勢でジャンプする。（両手両足を同時に地面から離し、同時に着地する。）（１点）
	（３）	肋木などからセーフティマット上に自由に、かつ安全に跳び下りる経験を積ませる。その後、跳び箱からいろいろなポーズで、または、ねらった所へ、あるいは遠くに、安全に柔らかく両足着地できるようにする。（１点）
問２	（１）	両足で踏み切って腰を引き上げ、しっかり手で支えて頭（後頭部）を着く。（３点）
	（２）	踏み切りや腰の引き上げが不十分な場合、跳び箱を少し低くして、踏み切り後にしっかりと腰を引き上げてスムースに前転できるようにする。（補助者をつけてもよい。）（３点）

第６問題

問１	（１）	H（１点）	（２）	B（１点）	（３）	F（１点）	（４）	D（１点）
	（５）	A（１点）	（６）	I（１点）	（７）	J（１点）		

問２	ア	習得した知識（１点）	イ	解決方法（１点）	ウ	提示の仕方（１点）

第７問題

問１	互いに相手の動きに応じて攻防し合う対人的な競技であり、剣道の技能は対戦する相手との関連によって成立する。（３点）					
	相手との関連の仕方は「竹刀」を用いて相対するので、これによって技能が規定される。（３点）					
問２	（１）	歩み足（１点）	（２）	鍔ぜり合い（１点）	（３）	面抜き面（１点）
	（４）	送り足（１点）	（５）	体当たり（１点）		

2025 kyosai-guild.jp

第８問題

問１	主役と脇役の動き（３点）					
	一斉の同じ動き（ユニゾン）やばらばらの異なる動き（３点）					
問２	ア	よさこい鳴子踊り（１点）	イ	越中おわら節（１点）	ウ	こまづくり唄（１点）
	エ	大漁唄い込み（１点）				

第９問題

問１	スポーツには民族や国、人種や性、障害の有無、年齢や地域、風土といった違いを超えて人々を結びつける文化的な働きがあること。（３点）
問２	それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方（３点）

第10問題

問１	ア	個人生活（１点）	イ	技能（１点）	ウ	自他の課題（１点）
	エ	他者に伝える力（１点）	オ	保持増進（１点）		
問２	観察の視点を明確にすること。（３点）					
	ワークシートの項立てを工夫すること。（３点）					

第11問題

ア	密集（１点）	イ	集団（１点）	ウ	マスク（１点）
エ	呼気（１点）	オ	発声（１点）	カ	回数（１点）
キ	手洗い（１点）	ク	熱中症（１点）		

2025 kyosai-guild.jp